

令和3年度 四日市市環境活動賞受賞者紹介

●受賞団体

一般社団法人ネクストステップ研究会

神前里山を守る会

●表彰式

令和3年12月4日（土曜日）にそらんぽ四日市1階講座室で表彰式を行いました。



一般社団法人 ネクストステップ研究会



地域ESD活動推進拠点

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



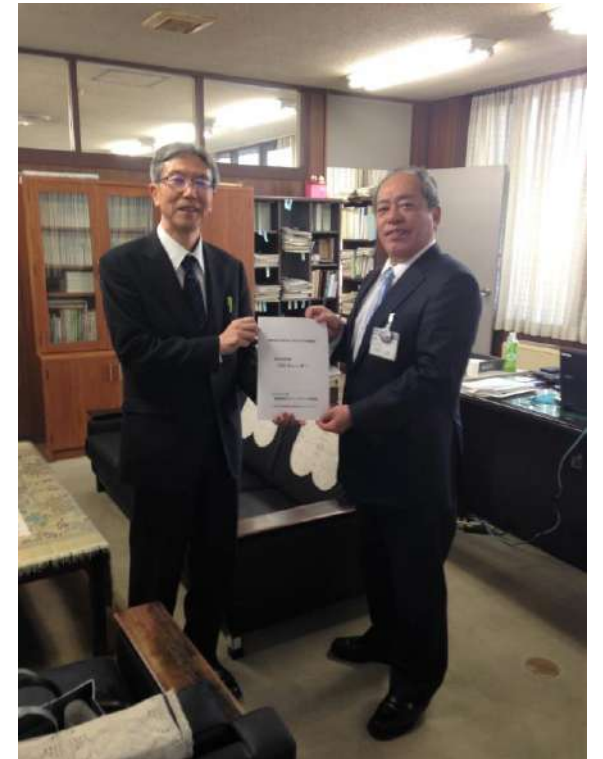
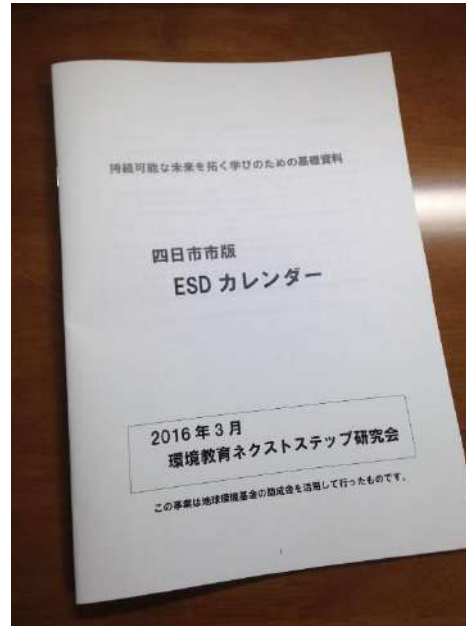
活動開始	平成27年11月（活動歴6年）	会員数	28人
目的	環境の側面から、持続可能な社会づくりに資する活動やそのための教育を推進する ～持続可能な社会を作るための場づくり・人づくり・つなぎ役として役立ちたい～		
活動内容	◇ESDやSDGsに関する講座の企画・運営		
	身近な課題をSDGsの視点から考えるオンライン講座を実施		
	◇循環型生ごみ処理の普及促進		
			ライフスタイルに合わせたキエーロの普及推進などを実施
			◇里山の整備
			南部丘陵公園、メリノール学院の2か所で現地の特徴を反映した整備

四日市市版ESDカレンダーの作成

ESDカレンダーは、ESD（持続可能な開発のための教育）を学校で展開していくために、小・中学校の教科書から、ESDに関連する内容を抜き出し、カレンダー風にまとめ一覧できるようにしたものです。

こうすることにより、各学年、各教科のつながりがよくわかるようになり、内容の重複を避けたり、効果的な指導ができるようになります。

2016年に作成した四日市市版は、その後市内の公立小・中学校で学校独自の形に発展させ活用されています。



葛西教育長に贈呈
(2016.3)

メリノール学院で竹林整備

ネクストステップ研究会里山チームは、現地の特徴を生かし、目的を明確にして整備に入ります。

南部丘陵公園では、ナラ枯れを防ぎ、明るく、多様な生物の棲む里山を作ること、うつべの森では、スギ林の間伐を行い親子で遊べる森にすることを目指しました。メリノールの竹林では、竹の侵入を防ぎ、生徒達の活用できる森にすることを目指しています。



作業開始 竹の伐採とチップ化作業



だんだん森が明るくなっていく

SDGs を自分事にするために



参加型ワークショップの企画・運営をしています。

【バックキャストिंग】や【同時解決】思考
現在から未来を考えるのではなく、「未来のあるべき姿」から「未来を起点に」異なる分野や目標を持つ人たちと解決策を見つけられるように「現在に逆算」していく発想を引き出します。

具体策や正解が
すぐには分から
ない課題に有効

目先の利害関係
を超えたパート
ナーシップを築
く

コロナをきっかけに、オンラインでも実施しています。
アイスブレイクは投票機能・ホワイトボード等の活用、
ワークは小部屋（ブレイクアウトルーム）で進め、成果
物作成の共同作業等も行います。
リアルの良さ、オンラインの良さ、それぞれを駆使して
参加者の合意形成・行動変容をファシリテート（促進）
します。

神前里山を守る会

●表彰活動の内容

団体名：神前里山を守る会

構成人数：約100名

主な活動場所：神前地区の大日山を拠点とし、寺方、曾井、尾平に広がる里山

- 約35年前から長年にわたって大日山を拠点に、曾井山を通過して谷田池（大溜）に続く一帯の保全活動を自主的に行っている。里山を保全することで豊かな自然環境を守り、生物多様性の保全に大きく貢献している。
- この里山を整備し守っていくことで、自然とともに生きてきた先人の知恵と文化を、後世へ伝えていく場となっている。
- ふれあい事業では、地域の子どもたちに里山の自然の美しさや、歴史を伝え実際に大日山に触れるきっかけづくりも行っている。



里山整備活動

ふれあい事業



●活動の目的

神前地区には大日山から曾井山を中心とした広大な里山が残っている。神前里山を守る会は、市街地の近くの貴重な自然環境を保全することにより、日常生活の中での心のやすらぎと自然を体感できる緑豊かなまちづくりを目的とし、活動している。

●活動の内容

1. 大日山一帯の整備活動

- 年に4回、大日山での整備活動を行っている。
(下草刈り、竹・雑木の伐採・集積、災害による破損個所の修繕 等)
- 寺方の裏山、曾井山も同様に整備活動を行い、豊かな自然環境を保全している。
- 参加者は各回おおよそ40名ほど



●活動の内容

2. 市民緑地 すがわら「とおりゃんせ」の整備

- 平成28年に、緑地の保全や都市緑地の創出を図るため、市民緑地 すがわら「とおりゃんせ」を開設した。
- 整備・保全を進めるとともに、地域の方が自然に親しむことができる憩いの場となっている。
- 小学校の卒業記念植樹祭等のイベントでは、小学校の卒業生とともに植樹を行っている。



市民緑地 すがわら 「とおりゃんせ」

3. ふれあい事業

- 12月にある「ふれあい事業」では、地域の子どもたちと、大日山に落ちている枝や木の実を拾い、それを用いて表札、竹馬、遊び道具を一緒に作っている。
- 子どもたちには、神前の里山の自然や歴史、環境保全の大切さを伝えている。
- 地域の方々が自然に親しむことができる憩いの場となっており、豊かな心を育む場づくりに貢献している。



落ち枝や木の実を使った、表札、竹馬づくり

●経歴(概要)

- 1986年 有志で活動開始
- 2000年 会則作成
- 2010年 神前まちづくり構想策定に向け、策定委員会の中に里山部会を立ち上げる。
- 2012年 神前まちづくり構想で里山保全の方向性を策定
- 2016年 菅原町に市民緑地「とおりゃんせ」を整備
- 活動期間 令和3年11月27日現在：35年7か月

●今後の展望

- ◆大日山ゾーン
自然と触れ合う自然教室や里山の恵みを体験する環境学習等の開催
- ◆寺方の裏山ゾーン
隣接する福祉施設と連携して、散策路の整備
- ◆曾井山ゾーン
いくつかある里山道の中で散策コースを指定し、沿道に紅葉、楓、桜等を植林し、散策観光スポットを作成
- ◆尾平ゾーン
大溜池、小溜池周辺を活用し、藤棚やあやめ園など季節を楽しめる植物を植え、年間を通して近隣住民が集える場所づくり